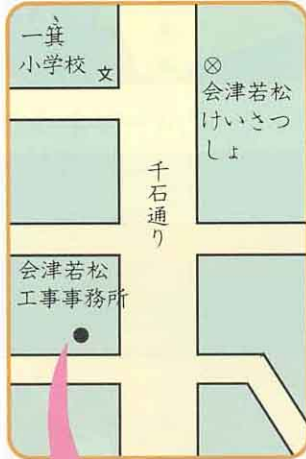


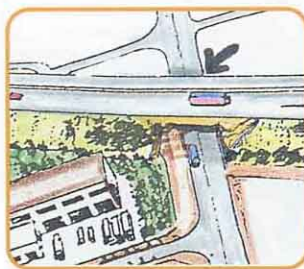
高速道路がどのような
にしてつくられたのか
調べてみましょう。



① 会津若松工事事務所

② こ道橋

「道をまたぐ橋」と
いう意味で、道路
の上にかけられた
橋のこと。



高速道路ができるまで

高速道路が、どのようにしてつくられたのか
を調べたくて、みさきさんたちの班では、千石
通りにある『日本道路公団・会津若松工事事務
所』をたずねて、工務課長さんにお話を聞くこ
とができました。



工務課長さんのお話

この高速道路は、「東北横断自動
車道いわき新潟線」と言います。

わたしたちの会津若松工事事務所では、猪
苗代から西会津町までの50kmほどの区間の工
事を受け持っています。

とちゅう、橋をかけたり、トンネルをほっ
たり、今まであった道路の上にご道橋をかけ
たりするなど、計画してから約23年、工事が
始まってから約9年にもなります。工事にか
かわった人もすでに100万人以上にもなり、
とても大変な工事がいくつもありません。

みさきさんたちの班では、ほかにもいろいろ
なしつ問をして、高速道路の工事の様子がよく
分かるように、年表や図にしてまとめることに
しました。